

ホクコービレスコ<sup>TM</sup>顆粒水和剤

■種類名：スルホキサフロル水和剤  
 ■有効成分：スルホキサフロル----- 25.0%  
 ■化管法指定物質：ドデシル硫酸ナトリウム [第1種] ----- 1.5%

■登録番号：第24139号  
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)  
 ■登録初年：2018.10.10  
 ■性状：類白色水和性細粒  
 ■有効年限：5年  
 ■包装：100g×20袋、500g×10袋

## 【特長】

- 新規系統の殺虫剤で、アブラムシの種類を選ばずに優れた効果を示す。
- 優れた浸透性、浸透移行性を有し、葉表から葉裏、新規展開葉へ移行するので安定した効果が期待できる。
- 速効性に優れ、散布後速やかに特徴的な症状を示す。

## 【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スルホキサフロルを含む農薬の総使用回数			
ばれいしょ	アブラムシ類	5000～10000倍	100～300 $\mu$ g/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内			
		1250倍	25 $\mu$ g/10a							
		160倍	1.6 $\mu$ g/10a							
やまのいも		5000～10000倍	100～300 $\mu$ g/10a	収穫3日前まで		3回以内		散布	3回以内	
てんさい		160倍	1.6 $\mu$ g/10a	収穫7日前まで						
だいず		5000～10000倍	100～300 $\mu$ g/10a	収穫14日前まで		2回以内		散布		2回以内
いんげんまめ										
小麦	60～150 $\mu$ g/10a			収穫7日前まで	3回以内		3回以内			
未成熟とうもろこし	100～300 $\mu$ g/10a			収穫前日まで						

## 【効果・薬害等の注意】

- 本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布すること。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- ばれいしょに対して希釈倍数1250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
  - ◆ 散布は各散布機種種の散布基準にしたがって実施すること。
  - ◆ 散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 散布器具及び容器の洗浄水等は河川等に流さないこと。また、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

#### 【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。
- ❖ 魚毒性等：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。  
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。